

平成22年度 決算報告書

(様式2)

平成22年度 決算報告書

国立大学法人鹿屋体育大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,519	1,519	—	
施設整備費補助金	—	—	—	
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	6	47	41	(注1)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	18	21	3	(注2)
自己収入	543	549	7	
授業料、入学料及び検定料収入	495	498	3	(注3)
附属病院収入	—	—	—	
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	48	52	4	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	19	124	105	(注5)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
承継剰余金	—	—	—	
目的積立金取崩	—	—	—	
計	2,105	2,260	155	
支出				
業務費	2,062	1,984	△78	
教育研究経費	2,062	1,984	△78	(注6)
診療経費	—	—	—	
施設整備費	18	21	3	(注7)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	6	45	39	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	19	69	49	(注9)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
計	2,105	2,119	14	
収入－支出	—	141	141	

※記載金額は百万円単位とし、表示単位未満は四捨五入して表示

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 補助金等収入については、国からの補助金の獲得額が見込額を上回ったため、予算額に比して決算額が41百万円多額となっています。
- (注2) 国立大学財務・経営センター施設費交付金については、受入額が見込額を上回ったため、予算額に比して決算額が3百万円多額となっています。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として受験者数及び在籍者数が見込数を上回ったため、予算額に比して決算額が3百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入については、主として講習料収入等が見込額を上回ったため、予算額に比して決算額が4百万円多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が105百万円多額となっています。
- (注6) 教育研究経費については、退職手当支給者数の減及び経費節減に努めたことにより、予算額に比して決算額が78百万円少額となっています。
- (注7) (注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が3百万円多額となっています。
- (注8) (注1)に示した理由により、予算額に比して決算額が39百万円多額となっています。
- (注9) (注5)に示した理由により、予算額に比して決算額が49百万円多額となっています。